



本書と別冊の「サイバースhoot取扱説明書 活用編・困ったときは」をよくお読みのうえ製品をお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

警告 電気製品は、安全のための注意事項を守らないと、人身への危害や火災などの財産への損害を与えることがあります。
「活用編・困ったときは」の3ページと108ページから110ページに、製品を安全にお使いいただくための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。ご使用前によくお読みください。



この説明書は100%古紙再生紙とVOC（揮発性有機化合物）ゼロ植物油型インキを使用しています。

付属品の確認をしてください

- 万一、不足の場合はお買い上げ店にご相談ください。
- バッテリーチャージャー BC-CS3 (1)
- リチャージャブルバッテリーパック NP-FT1 (1) / バッテリーケース (1)
- マルチ端子専用 USB・A/V・DC IN ケーブル (1)
- リストストラップ (1)
- サイバースhootアプリケーションソフトウェア (1)
- サイバースhoot取扱説明書 活用編・困ったときは (1)
- サイバースhoot取扱説明書 活用編・困ったときは (1)
- 保証書 (1)

“メモリースティック デュオ”は付属していません。本機には58MBの内蔵メモリーを搭載しておりますが、より多くの撮影のためには“メモリースティック デュオ”の購入をおすすめいたします。
“メモリースティック デュオ”：本機で使用可能です。

“メモリースティック”：本機で使用できません。
その他のメモリーカードは使用できません。
“メモリースティック デュオ”について詳しくは→別冊「活用編・困ったときは」99ページ

ご注意

- はじめてお使いになるときは、付属のバッテリー NP-FT1を充電してください。
- 液晶画面は有効画素99.99%以上の非常に精密度の高い技術で作られていますが、黒い点が現れたり、白や赤、青、緑の点が消えないことがあります。これは故障ではありません。これらの点は記録されません。
- 本機は精密機器です。レンズや液晶画面をぶつけたり、無理な力をかけないでください。また、落下防止のため、リストストラップを取り付けてご使用ください。

サイバースhoot オフィシャルWEBサイト

http://www.sony.co.jp/cyber-shot/
サイバースhootの最新サポート情報(製品に関するQ&A、パソコンとの接続方法など)はこちらのホームページから。
http://www.sony.co.jp/cyber-shot/support/

■使用上での不明な点や技術的なご質問

テクニカルインフォメーションセンター
電話：0564-62-4979
(おかけ間違いにご注意ください。)
受付時間：
月～金曜日：午前9時～午後8時
土、日曜日、祝日：午前9時～午後5時

1 バッテリーを準備する

- バッテリーを入れる。
バッテリー後部をカチッと音がするまで軽く押す。
- 電源プラグを引き起こし、コンセントへ
電源プラグ
CHARGEランプ
点灯：充電中
消灯：充電終了(実用充電)
そのまま約1時間充電を続けると、若干長くバッテリーを使うことができます(満充電)。

- バッテリーチャージャーは、お手近なコンセントをご使用ください。
- 充電が完了してCHARGEランプが消えても電源からは遮断されません。使用中、不具合が生じたときはすぐにコンセントからプラグを抜き、電源を遮断してください。
- 充電が終わったら、バッテリーチャージャーをコンセントから抜き、バッテリーをバッテリーチャージャーから取り出してください。
- 付属のバッテリーを使い切ってから、温度25℃での満充電時間は約220分、実用充電時間は約160分です。使用状況や環境によっては、長くかかります。

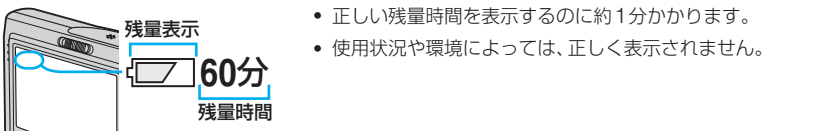
- 充電したバッテリーを入れる。
取りはずしつまみ
バッテリー/“メモリースティック デュオ”カバーを開ける。
バッテリーの端で取りはずしつまみを押しながら入れる。
閉じる。

コンセントの電源で本機を使うときは

別売りのACアダプター AC-LS5Kを使うと、コンセントにつないで使うことができます→別冊「活用編・困ったときは」15ページ。取り扱いについて詳しくは、ACアダプターの取扱説明書をご覧ください。

バッテリーの残量を確認するときは

レンズカバーを開けるか、POWERボタンを押して電源を入れ、液晶画面で確認する。



バッテリーを取り出すときは

バッテリー/“メモリースティック デュオ”カバーを開け、取りはずしつまみをずらしバッテリーの端に指をかけて取り出してください。落下防止のため、つまみをずらしたまま下に向けないようにご注意ください。



海外で使うときは

バッテリーチャージャー(付属)やACアダプター AC-LS5K(別売り)は全世界(AC100V～240V・50/60Hz)で使えます。ただし、地域によっては壁のコンセントに差し込むための変換プラグアダプターが必要になる場合があります。あらかじめ旅行代理店などでおたすねの上、ご用意ください。

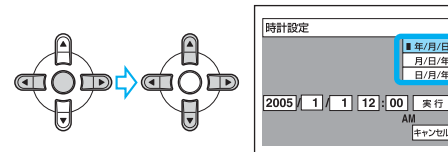
コンセントの形状例	主に北米	主にヨーロッパなど
変換プラグアダプター	不要	必要

- 電子式変圧器(トラベルコンバーター)は故障の原因となるので使わないでください。

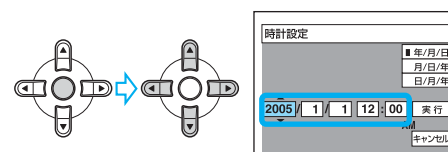
2 電源を入れ、時計を合わせる

- モードスイッチを「」にする。
点灯
POWER
- レンズカバーを開けるかPOWERボタンを押す。

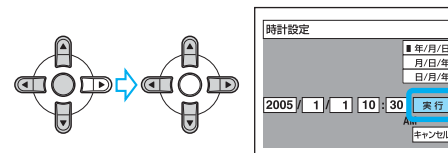
- コントロールボタンで、時計を合わせる。
1 ▲▼で日付表示順を選び、●で決定する。



- ◀▶で設定する項目を選び、▲▼で数値を設定して●で決定する。



- ▶で[実行]を選び、●で決定する。



- 時計合わせを中止するには、[キャンセル]を選んで、●を押す。

時計合わせをやり直すときは

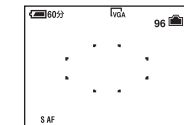
(セットアップ)メニュー画面で[時計設定]を選び、手順③を行う。
→別冊「活用編・困ったときは」47、58ページ

時刻表示について

- 真夜中は12:00AM、正午は12:00PMと表示されます。
- 手順④-1で[日/月/年]を選んだときは、24時間表示になります。

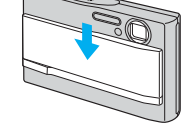
電源を入れたときのご注意

- 時計合わせをしないと、電源を入れるたびに時計設定画面が表示されます。
- 2回目以降、電源を入れたときは下の画面が表示されます。



レンズカバーを開けるときは

- レンズに触れないようご注意ください。

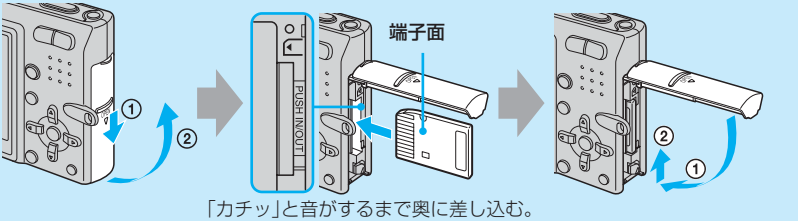


電源を切るときは

レンズカバーを閉めるか、POWERボタンを再び押す。

- バッテリー使用時に、電源を入れたまま約3分間操作をしないと、バッテリーの消耗を防ぐために自動で電源が切れます(オートパワーオフ機能)。

3 “メモリースティック デュオ”(別売り)を入れる



“メモリースティック デュオ”が挿入されていないときは
本機の内蔵メモリー(58MB)に画像を記録/再生します。→別冊「活用編・困ったときは」22ページ

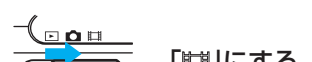
4 用途に合わせて画像サイズを決める

① モードを選ぶ。

静止画のとき



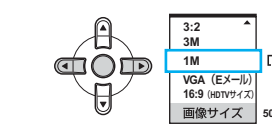
動画のとき



② / (画像サイズ) ボタンを押す。

③ 画像サイズを選ぶ。

▲▼で画像サイズを選ぶ。



- 静止画のときの画面です。
- 動画のときは[640 (ファイン)] (“メモリースティック PRO デュオ”のみ)、[640 (スタンダード)]、[160]から選びます。
- [画像サイズ]の右に撮影残枚数(静止画撮影時)/撮影残時間(動画撮影時)が表示されます。

④ / (画像サイズ) ボタンを押して、設定を終了する。



静止画の画像サイズについて

「画像サイズ」について詳しくは→別冊「活用編・困ったときは」12ページ
お買い上げ時の設定はで示しています。

画像サイズ	用途の例	撮影可能枚数	プリント時
✓ 6M (2816 × 2112)	A4サイズプリントやA5サイズ高精細プリントする場合	少ない	精細
3:2* (2816 × 1872)			
3M (2048 × 1536)			
1M (1280 × 960)	写真のL判でプリントする場合		
VGA (Eメール) (640 × 480)	より多くの画像を撮影する場合 Eメールへの画像添付やホームページ作成用の場合	多い	粗い
16:9 (HDTVサイズ)** (1920 × 1080)	ワイドテレビやハイビジョン対応テレビで見える場合***		

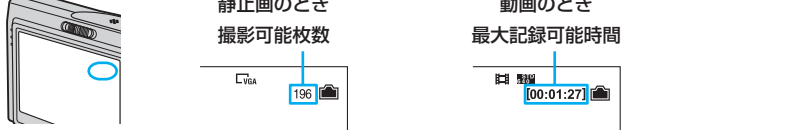
* 写真の印画紙、ポストカードなどと同じく3:2の横縦比で撮影します。

** プリント時に両端が切れることがあります。→別冊「活用編・困ったときは」93ページ

*** “メモリースティック”スロットやUSB経由で接続すれば、より高画質でお楽しみいただけます。

静止画の撮影可能枚数と動画の記録可能時間

画像サイズを変えると静止画の撮影可能枚数と動画の記録可能時間が変わります。詳しくは→別冊「活用編・困ったときは」21ページ



- 撮影可能枚数や記録可能時間は、撮影状況によって異なります。

“メモリースティック デュオ”を取り出すときは

バッテリー/“メモリースティック デュオ”カバーを開け、“メモリースティック デュオ”を1回押す。

アクセスランプ点灯中は

絶対にバッテリーや“メモリースティック デュオ”を取り出したり、電源を切らないでください。データが壊れることがあります。

5 簡単に撮る(オート撮影)

持ちかた

被写体をフレーム中央部におさめる。

① モードを選ぶ。

静止画(オート撮影)のとき

「カメラ」にする。

動画のとき

「動画」にする。

② シャッターボタンで撮影する。

静止画のとき

半押ししてピント合わせ

AE/AF ロック表示
点滅 → 点灯

AF 測距枠

深く押し込む

カシャ

動画のとき

深く押し込む

録画を止めるには、もう1度シャッターボタンを深く押し込む。

コントロールボタンの機能を使うには

静止画のフラッシュモードを選ぶ

最後に撮った静止画を見る(クイックレビュー)

被写体に近接して撮る(マクロ撮影)

セルフタイマーで撮る

最後に撮った静止画を見る(クイックレビュー)

コントロールボタンの◀(ⓐ)を押す。
やめるには、もう1度▶を押す。



- 表示直後は画像が粗いことがあります。
- 画像を削除するには、[削除] ボタンを押す、コントロールボタンの▲で[削除]を選び、●を押します。

静止画のフラッシュモードを選ぶ

手順②の前に、コントロールボタンの▲(ⓑ)を押す。押すごとに、設定が変わる。



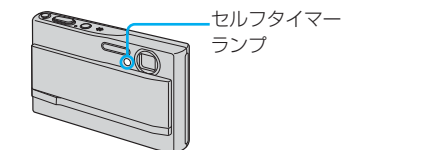
- 表示なし
- 光量不足と判別したとき発光(お買い上げ時の設定)
- 強制発光
- スローシンクロ(強制発光)
- 暗い場所ではシャッタースピードを遅くし、フラッシュが届かない背景も明るく撮影。
- 発光禁止

- フラッシュ推奨距離([ISO]が[オート]の時)
W側: 約0.1 ~ 2.8m
T側: 約0.25 ~ 2.3m
- フラッシュは2回発光し、1回目が発光量を調整します。
- フラッシュを充電している間、[充電]が表示されます。

セルフタイマーで撮る

手順②の前に、コントロールボタンの▼(Ⓒ)を押す。シャッターボタンを押すと、セルフタイマーランプが点滅して「ピピピピ」と操作音が鳴り、約10秒後に撮影される。

やめるには、もう1度▼を押す。



- 三脚(別売り)のご使用をおすすめします。

6 画像を見る/削除する

① 「カメラ」にする。

MENU ボタン

コントロールボタン

② MENU ボタンを押す。

MENU

③ ◀で「カメラ」(カメラ)を選び、▲/▼で撮影モードを選ぶ。

撮影モードについては、下をご覧ください。
選んだ設定は、電源を切ったあとも保持されます。

④ MENU ボタンを押してメニュー表示を消す。

⑤ シャッターボタンで撮影する。

シーンセレクションを解除するには

▲/▼で[オート]または[プログラム]を選ぶ。

シーンセレクションの撮影モード

あらかじめ、撮影状況に合わせた下記の設定が用意されています。

	[Q.] 拡大鏡モード 被写体が液晶画面上に最大3.5倍に拡大されて表示される。		[Q.] ソフトスナップモード 人物や花などを、優しい雰囲気でも撮る。
	[Q.] 風景モード 遠景にピントを合わせ、遠くの風景などを撮る。		[Q.] 高速シャッターモード 明るい場所で、動きのある被写体を撮る。
	[Q.] ビーチモード 海や湖畔など、水の青さを鮮やかに撮る。		[Q.] スノーモード 白い風景を明るく撮る。
	[Q.] 打ち上げ花火モード 打ち上げ花火をきれいに撮る。		[Q.] 夜景&人物モード 夜景をバックに、手前の人物を撮る。
	[Q.] キャンドルモード キャンドルライトの雰囲気損なわずに撮る。		

* シャッタースピードが遅くなるので、三脚のご使用をおすすめします。

コントロールボタンを使った機能をシーンセレクションと同時に使うには

手順⑤で撮影する前に設定してください。モードによっては使えない機能があります。使えない機能のボタンを押すと、ピピピと音が鳴ります → 別冊「活用編・困ったときは」 26ページ。

① 「動画」にする。

② ◀(前)/▶(次)で画像を選ぶ。

静止画の場合: 画像サイズを表示
動画の場合: [再生] を表示

[再生] 動画を再生するには

●を押す。

再生バー

早送り/巻き戻し: ◀/▶
(通常再生に戻るには●)

音量調節: ▲/▼

再生中止: ●

画像サイズ[160]で撮影した動画は、ひとまわり小さく表示されます。

画像を削除するには

- 削除したい画像を表示して[削除] ボタンを押す。
- ▲で[削除]を選び、●を押す。

[削除] ボタン

削除を中止するには [終了]を選び、●を押す。

拡大して見るときは(再生ズーム)

静止画を再生中に [Q] ボタンを押すと、ズームできる。[Q] ボタンで戻る。
ズーム位置変更: ▲/▼/◀/▶
ズーム中止: ●

拡大した画像を保存するには: [トリミング] → 別冊「活用編・困ったときは」 46ページ

連続再生するには(スライドショー)

静止画を再生中に [再生] (スライドショー) ボタンを押す。もう1度押すと、終了する。

BGMなどを変更できます。その他の操作や各種設定を変更するには: → 別冊「活用編・困ったときは」 27ページ

一覧(インデックス)表示で見るときは

[Q] (インデックス) ボタンを押し、▲/▼/◀/▶で画像を選ぶ。●を押すと、シングル画面に戻る。◀/▶を押し続けると、次の画面に移る。



もう1度押すと
16画面表示になります。

一覧(インデックス)表示で画像を削除するとき

- 一覧表示中に [削除] ボタンを押す、コントロールボタンの▲/▼で[選択]を選び●を押す。
- 削除したい画像を▲/▼/◀/▶で選び、●を押して [削除] マークを付ける。

緑色の選択枠

削除を中止するには
取り消したい画像を選んで●を押す、[キャンセル] マークを消す。

3 [削除] ボタンを押す。

4 ▶で[実行]を選び●を押す。

フォルダ内のすべての画像を削除するには、手順1で▲/▼で[選択]の代わりに[フォルダ内全て]を選んで●を押してください。